



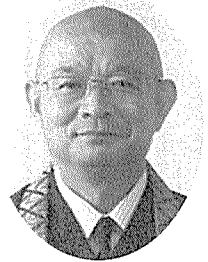
9月12日、寺族婦人研修会の様子(三隅組 専称寺)

# 寺婦のひろば

第 15 号

山陰教区  
寺族婦人会連盟

題字：鷺谷良子



ご挨拶

山陰教区教務所長 野川大卓

このたび四月一日付で、山陰教区教務所長・本願寺山陰教堂主筆を拝命いたしました。

浅学非才の若輩者でありますゆえ、責務を果たすことに不安を覚えますが、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方に於かれましては、それぞれの寺院或いは各組の寺婦組織で、お互いに連携をもつて研鑽を深められ振興につとめて頂いておりますこと、厚く御礼申し上げます。

ところで、皆様ご承知のとおり、親鸞聖人は一一七三(承安三)年に、現在の京都市伏見区の日野の里でご誕生になりました。平安時代の末期で、平清盛が全盛を誇っていたころと思われま

す。この日野の里の始まりは京都よりも古く、奈良時代にさかのぼります。日野家の祖先に「藤原真夏」という方がおられました。親鸞聖人の「御伝鈔」上巻第一段に登場します「内麿公」の次代の人です。言い伝えですが、この藤原真夏が天皇の命令で加茂のお宮にお参りされるときに、「日野の里」を通りました。その時、ひとりの翁が現れ、「ここは仏法有縁の地である」と言われたそうです。このことを不

思議に思った藤原真夏は、奈良に帰って天皇に申しあげたところ、その「日野の里」を天皇より賜ることになったのです。そこで藤原真夏は、その地に家を建てました。そして、そのあたりの風景が、奈良の「春日野」に似ていたため、地名を同じ「春日野」として板に書いておきました。すると、何処からか鹿が出てきて、「春日野」の「春」の字を舐めて消してしまい、「日野」になってしまいました。藤原真夏は、鹿の行為に腹を立てるのではなく、奈良の「春日野」に遠慮せよと受け入れて、その後地名を「日野」と改めたそうです。そして藤原真夏から七代後の人、藤原資業(「御伝鈔」上巻第一段に登場します「有国卿」の次代の人)が、姓を「藤原」から「日野」に変更して、日野姓の初代になったそうです。

私たちも、現実には厳しいですが、腹を立てるばかりでなく、受け入れることも大切なことのひとつだと思います。その抛りどころは、經典であり、親鸞聖人のみ教えであります。お経さまを聞かせて頂き、阿弥陀さまに「おまかせ」しましょう。「生死出づべき道」を。

合掌

# 研修会に 参加された 皆さんの声

## 寺族婦人研修会

- 期 日  
2012(平成24)年9月12日(水)
- 会 場  
三隅組 専称寺
- 講 師  
邑智東組高善寺 武田正文 師
- テーマ  
「お寺で役立つカウンセリングの基本」

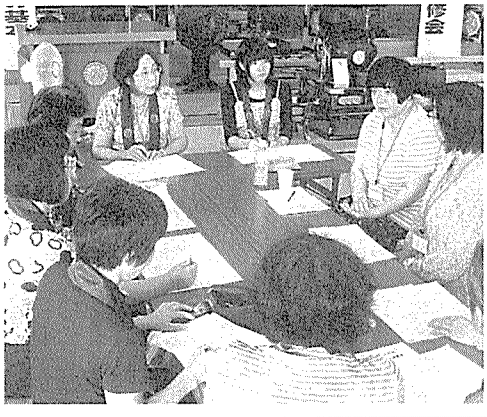
参加型の会は、いいですね～。  
カウンセリングワークショップなどこれ  
から開いていただきたいなあ、と思って  
います。あれば参加したいです。  
たくさんのご準備をいただき、ありが  
うございました。お世話になりました。



基本的に坊守として  
私の考えに問題があ  
ると気づかされまし  
た。舵を変えていく  
つもりです。  
ありがとうございました。

とても、とても楽しい会でした。

「カウンセリング」という、一般社会と共通の言葉を用い  
て、浄土真宗をとらえなおすことは、ご法義をつたえるため  
にも大切だし、これから後に残すためにも大切だと思いまし  
た。又、今、ここ、私自身が救われるそのシステムは人知の  
理解をこえているのですが、心理学のフィルターをとおすと  
イメージしやすいと思います。さいごに、「真宗」がこれか  
ら残っていくためには、世間的にも「役立つ」面もアピール  
しなくては!? その1つがカウンセリングでしょうか…



とても参考になりました。  
参加して本当によかったです。  
カウンセリングはこれから確実に必要になると思うので意識してやっていきたいです。

今日の研修は自分自身のいやしになりました。話を聞く、傾聴することの大切さを学びました。  
今日のような楽しい研修を開いていただき、ありがとうございました。

お世話になりました。  
わかりやすいお話でよい1日をすごさせていただきました。  
気持ちのよい本堂、おいしいお汁etc...お心づかいを折々に感じることができ感謝致します。ただ、膝・足等不自由な者にとって少々しんどい1日でした。

とても良い研修をさせていただきました。  
講師のしっかりとされていること、頼もしく有難く思いました。  
ご講師の話された通り阿弥陀様のまなざしに護られて生かされていることを今更に喜びました。ありがとうございました。

初めて参加させていただきました。御門徒の方の悩み相談の参考になりました。

僧侶の方でカウンセラーということに興味深いお話でした。  
午前の研修で基本的なこと、午後で具体的なことと、とてもわかりやすい構成でした。また聞きたいと思います。本日はありがとうございました。



お寺で役立つカウンセリングのお勉強を  
させていただきまして、熱心にお話をお聞  
かせ頂くことができました。

私のために聞かせて下さった事を、お寺に  
帰って又、皆様と共有させていただきたい  
と思います。とってもよかったです。合掌。



とても良い体験をさせてもらいま  
した。身も心も軽くなりました。  
坊守の立場は聴き役でしたが話す  
事によって心が楽になる体験をさ  
せて頂き、御門徒さんの悩み立場  
が少しわかりました。

もっともっとよく傾聴できる坊守  
になりたいと思うことです。また  
よき母、妻になりたいとも思いま  
した。

この度の研修会で、カウンセリングの基本的態度を  
学ばせて頂きました。日頃からご門徒さまとお話す  
る時、受容と共感的理解については気をつけていま  
すが、もっと自分も人間的成長をしなければならな  
いなと反省しました。実際にカウンセリングの体験  
を通して学べた事はとても良かったです。

坊守は笑顔が一番と感じま  
した。だれでもできることの  
一つです。



解決策の方法がみえない相談を受け  
それがかかえ込むこともたくさんあ  
ります。

今日の研修で得たことを生かして行  
きたいと思いますが、もっともっと  
寺族の方々と具体的な悩みを話し合  
える時を持てたらと思います。

武田先生にひと言。今日はありがとうございました。

ただ、ひとつ、気になることがありました。

真宗の心理学としてひとつもまだないと聞きましたが、私は「浄土の人びと」という本で小西輝夫師が書かれた本を読みました。妙好人さんたちの色々な統計や心理を元精神科医の小西先生が書かれております。私はとても感銘を受けております。他力の心理です。



とても有意義な研修会をありがとうございました。坊守として聞き役ばかりの日々でしたので、カウンセリングしていただく役になって悩みを聞いていただき、すっきりしました。結構たまっていたんだなぁと気づきました。今後、上手に傾聴していきたいと思います。

坊守と仏婦役でカウンセリングのやり方は誰もみな同じ悩みをかかえていらっしゃる事がわかり、誰かに聞いてもらえることが、心をすっきりするというのも実感できました。基本的な事、学べてよかったです。

多くの坊守さんがおいで下さって、嬉しく思いました。お寺に悩みごとを相談に来られた時、相手が何を求めているのかを的確に知るということは、とても難しいと思いました。自分の悩みを話していくうちに問題が何であるのかが、はっきりしてくることが分った。

非常に中身の濃い研修会でした。お寺でセラピスト役ばかりだったので、演技でもクライアントになってみてスーッと気持ちがよくなる実感がわき、寺族婦人にもカウンセラーが必要だわー！とカウンセリングにはまりそうになりました。(聞き上手なはずが。)グループワークも複数のあまり知らない寺族の方とおしゃべりしたり、悩みを共感できたり、今までで一番良い研修会でした。

昨年十三年ぶりに日本で開催されました第十四回世界仏教婦人会大会を記念して仏教讃歌『お名前よべば』『み教えをあなたと聴く』が製作・発表されました。

いずれも歌詞は、総裁の大谷範子お裏方様によるものです。親鸞聖人七五〇回大遠忌のスローガンであり、世界大会のテーマともなった「世のなか安穩なれ」という願いが込められたものだそうです。(めぐみ)第二二二号「メロデリーの宝石箱」に掲載されています。

今回ご紹介させていただきます『お名前よべば』は何かしら懐かしい親しみやすいメロディです。世界大会の折、歌とともに踊りも発表され、分らないながらも一緒に踊って、とても楽しいひと時であったことを思い出します。

親鸞さまをお慕いする気持ちをもって、「平和な世界へ手をつなごう」と世のなかの安穩を願いつつ、リズムにのって、楽しく身体を動かしながら歌いましょう。

(by 吉田)

# お名前よべば

作詞 大谷 範子  
作曲 高木 了慧

1. し ら ん さ ま し ら ん さ ま し ら ん さ ま  
2. し ら ん さ ま し ら ん さ ま し ら ん さ ま

お な ま え よ べ ば あ た た か い は る の ひ ざ し に つ つ ま れ た  
お な ま え よ べ ば ま つ さ お な な つ の お そ ら を み - あ げ て

き ぼ う が む ね に み ち て く る き ぼ う - が む ね に み ち て く る  
ゆ う き が せ な か を お し て い る ゆ う き - が せ な か を お し て い る

3. し ら ん さ ま し ら ん さ ま し ら ん さ ま  
4. し ら ん さ ま し ら ん さ ま し ら ん さ ま

お な ま え よ べ ば な つ か し い あ き の ゆ う や け ぞ ら の む こ う  
お な ま え よ べ ば し ん し ん と ふ ゆ の よ な が に か え り み る

ち ち は は お わ す と お し え ら れ ち ち は - は お わ す と お し え ら れ つ た な さ を  
わ た し の あ ゆ み の つ た な さ を わ た し - の あ ゆ み の

5. し ら ん さ ま し ら ん さ ま し ら ん さ ま

お な ま え よ ん で あ り が と う な も あ み だ ぶ つ に す く わ れ て

へ い わ な せ か い へ て を つ な ご う へ い わ - な せ か い へ て を つ な ご う

て を つ な ご う て を つ な ご う へ い わ な と き を い ま こ こ に

て を つ な ご う て を つ な ご う へ い わ な と き を い ま こ こ に

一、親鸞さま 親鸞さま 親鸞さま  
お名前呼べば 暖かい  
春の陽ざしに包まれた  
希望が胸に満ちてくる  
希望が胸に満ちてくる

二、親鸞さま 親鸞さま 親鸞さま  
お名前呼べば 真つ青な  
夏のお空を 見上げて  
勇気が背中を押している  
勇気が背中を押している

三、親鸞さま 親鸞さま 親鸞さま  
お名前呼べば なつかしい  
秋の夕焼け空の 向こう  
父母おわすと教えられ  
父母おわすと教えられ

四、親鸞さま 親鸞さま 親鸞さま  
お名前呼べば しんしんと  
冬の夜長に 省みる  
わたしの歩みのつたなさを  
わたしの歩みのつたなさを

五、親鸞さま 親鸞さま 親鸞さま  
お名前呼んで ありがとう  
南無阿弥陀仏に救われて  
平和な世界へ手をつなごう  
平和な世界へ手をつなごう  
手をつなごう 手をつなごう  
平和な時を今ここに  
手をつなごう 手をつなごう  
平和な時を今ここに

「少しづつじゃないと…」

大田中組 西性寺 龍 文子

大田中組になり寺族婦人の活動の一つにボランテアをする事になった。初めての活動で一抹の不安を抱えながら、七月五日早速、介護老人福祉施設に行った。

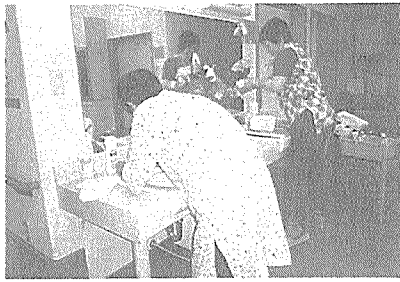
鏡の前のハブラシ、入れ歯、洗面器、手袋、ティッシュ、花瓶などを移動させて、ナイロンたわしで洗面台を洗い、雑巾で鏡を磨いた。

ボランテアをするにあたり施設には事前に電話をしておいた。「わがままを言って申し訳ないのですが、年齢の高いものや足の悪いものが行きますので、二時間くらいの室内作業をさせてもらいたいのですが…」明らかにスタートから腰が引けている。が、係の人は優しく「フツツいいですよ。窓磨きなどを考えておきましょう。」と、言つて下さった。

一時間半くらいで作業を終え、みんなでコーヒーを飲んだ時、ほどよい労働の後だからか「今度来る時は花を持ってこよう」「今度来る時は磨くための道具をもつてこよう」と、次回に向けての前向きな意見が続出した。『エーッ今度があるのー!』

心の中で叫んだのは私だけ? とりあえず一度経験してみよう、それくらいの気持ちでスタートしたはずなのに、この盛り上がりは何なのだ!

何となく皆さんの気持ちに引きずられて終わった感のある活動だったが、帰ってから不思議に満たされた気持ちになったのは、「少しはこんなことを…」させていたただいたお陰なのかもしれない。次回のボランテアの日程を調整しなければ…。



当日は十一名の坊守が集まり、鏡磨きと洗面台の掃除を二人一組でや

予告

平成二十四年度

寺族若婦人 研修会開催

のお知らせ

表記の研修会を出雲ブロック出雲組寺婦の担当で、次の通りの日程で開催いたします。若族の要望で、教区外の講師をお招きして、「お聴聞」中心の研修会を計画しました。まだ先のことですが、是非予定に入れておいてくださいますようお願いいたします。近づきましたら、各寺宛てに案内をさせていただきます。

日時

平成二十五年二月二十八日(木) 午前十時三十分(予定)

会場

出雲組 源光寺(出雲市)

講師

本願寺派布教使 大阪教区 小林顕英師

本音を話し合う手作りケーキ&コーヒータイムもあり。誘い合つてご参加ください。



第58回

中・四国地区 仏教婦人会(親婦)大会

日時：平成25年10月8日(火) 会場：松江くにびきメッセ

山陰教区担当

これらの会に対するご意見・要望などありましたらお聞かせください。

今、地域社会においてお寺の在り方が問われているように思われます。そんな厳しい時代に坊守として何が出来るのか皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

今悩んでいる事、今後どうしたらよいか等、各組代表委員の皆さんと共にアンテナを張って一人でも多くの方々の声をお聞かせ下さるよう待っています。

この寺族会がよりよい会となるようまた共々お育ていただければと念じております。

ご協力よろしくお願致します。

山陰教区寺族婦人会連盟委員長

吉田真子

2012(平成24)年度山陰教区寺族婦人会連盟歳計予算

歳入の部

款	項	費目	24年度予算	23年度予算	対比△減	説明
1		会費	499,500	499,500	0	
	1	本年度	499,500	499,500	0	1,500円×333単位分
	2	過年度	0	0	0	
2	1	助成金	200,000	200,000	0	教区助成金
3		回金	0	240,000	△ 240,000	
	1	教区より回金	0	0	0	本年度なし
	2	特別会計より回金	0	240,000	△ 240,000	本年度なし
4	1	参加費	140,000	332,000	△ 192,000	研修会参加費
5	1	雑収入	397	656	△ 259	
6	1	前年度繰越金	426,103	577,844	△ 151,741	
		合計	1,266,000	1,850,000	△ 584,000	

歳出の部

款	項	費目	24年度予算	23年度予算	対比△減	説明
1	1	研修費	600,000	600,000	0	寺婦研修会・若寺婦研修会
2	1	会議費	350,000	410,000	△ 60,000	代表者会・常任・合同常任委員会
3	1	事務通信費	100,000	105,000	△ 5,000	郵券料・事務消耗品
4	1	教化費	80,000	120,000	△ 40,000	寺婦のひろば
5	1	回金	0	0	0	本年度なし
6	1	諸費	30,000	240,000	△ 210,000	
7	1	予備費	106,000	375,000	△ 269,000	
		合計	1,266,000	1,850,000	△ 584,000	

連盟役員名簿

役職	氏名	所属寺
委員長	吉田 真子	真光寺
副委員長	藤森 麗子	宗玄寺
副委員長	富金原 晴江	蓮敬寺
常任委員	藤谷 文恵	真光寺
常任委員	日野 あけみ	円寿寺
常任委員	小笠原 峰子	西楽寺
常任委員	鷺谷 良子	敬願寺
常任委員	小玉 由美子	浄福寺
常任委員	日高 和恵	願入寺
常任委員	陶山 法恵	浄念寺
監事	三浦 佐代子	長泉寺
監事	俵 素子	圓浄坊

各組代表委員名簿

組名	氏名	所属寺
鳥取因幡	山名 企万枝	養源寺
鳥取伯耆	藤谷 文恵	真光寺
松江	吉田 真子	真光寺
出雲	藤森 麗子	宗玄寺
神門	三浦 佐代子	長泉寺
出雲南	日野 あけみ	円寿寺
飯南	佐和田 紀子	西正寺
大田東	小笠原 峰子	西楽寺
大田中	龍 文子	西性寺
大田西	鷺谷 良子	敬願寺
佐波	森田 敦子	覚法寺
川本	小笠原 春美	正安寺
千須賀	小玉 由美子	浄福寺
邑智東	俵 素子	圓浄坊
邑智西	日高 和恵	願入寺
江津	富金原 晴江	蓮敬寺
浜田	渡辺 政子	真行寺
三隅	高橋 君子	専称寺
益田	山鳥 和子	安養寺
鹿足	陶山 法恵	浄念寺

編集後記

これを書いていいる今は連日三十五度を超える猛暑です。夏とはこんなに暑かったかしらと思いません。夏には冬が良いと言います、冬には夏が良いと思う身勝手な私ですが、もうすぐ大好きな秋がやってきますので、気を引き締めて頑張りたいと思います。

今回は例年より早いお届けになりましたが、研修会のお知らせも入れたらという声にお応えしたものです。

今号はさらに親しみを持って読んでいただけるように、組の寺婦の活動の様子や、お裏方が作詞された新しい仏教讃歌「お名前よべば」の楽譜を載せました。歌うと元気になり、気持ち優しくなる仏教讃歌です。お寺での練習にお使いいただければと思います。

本誌がみなさまの架け橋になれたらと思います。そのためにも、各組での活動や情報をできるだけお寄せ下さい。また、「寺婦のひろば」についてご意見やご要望をお聞かせ下さい。

(KY)

